

## 「和のあかり×百段階段」展2016 先行内覧会開催

福井県・福井県和紙工業協同組合・新進気鋭の墨絵作家 西元祐貴氏がコラボ出展する「和のあかり×百段階段」展2016の先行内覧会が、6月30日に目黒雅叙園（東京都目黒区）において開催された。

越前和紙を生かした本県の魅力発信と、首都圏からのさらなる誘客を促進しようとするもので、セレモニーでは本県西川知事による県PRコーナーの紹介のほか、西元氏のライブパフォーマンスなどが披露された。

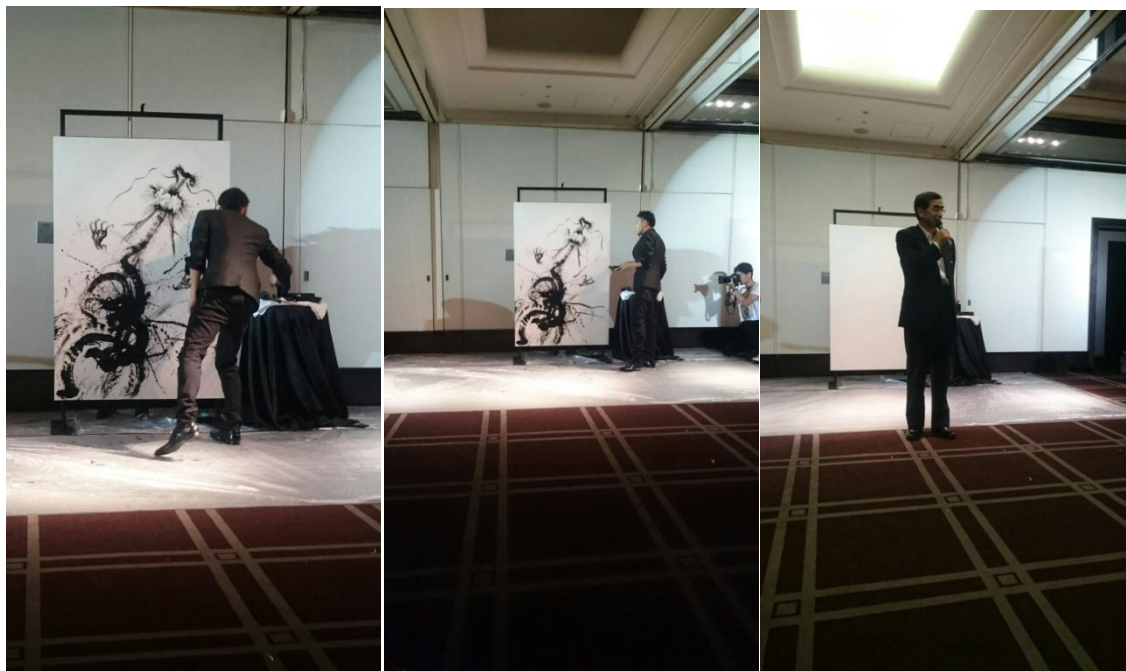
西川知事は、「越前和紙 福のあかり」をテーマとする越前和紙の展示作品、入場者へ配られる「越前和紙特製しおり」の紹介とともに、恐竜博物館、大本山永平寺など本県が誇る観光地など「幸福日本一の県 福井」の魅力を発信した。

県PRコーナー紹介後には西元氏のライブパフォーマンスが行われ、10分という限られた時間の中で大判の越前和紙に「龍」の墨絵を書き上げた。この作品は、開催期間中、県PRコーナーに展示される。

展示内覧では、県PRコーナーの展示作品を手がけた県和紙工業協同組合青年部 瀧英晃会長から、展示作品や制作方法の説明などが行われた。百段階段「十畝の間」の展示コンセプトに合わせ、龍のすみかを思わせる水面のイメージで制作されている。

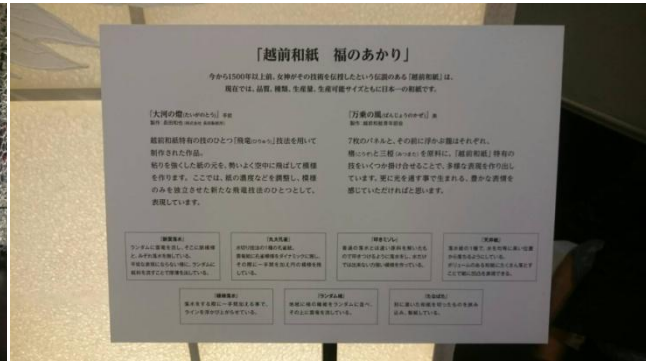
また、会場のミュージアムショップでは越前和紙で作られたうちわやブックカバーなど30品目の商品がならべられる。

### 《セレモニーの様子》



《展示内覧の様子》

○正面玄関「越前和紙 福のあかり」



○百段階段「十畝の間」 龍棲の郷 福井

